

## 1 大会全体概要

- (1)期間 2019年9月20日(金)~11月2日(土) [44日間]
- (2)会場 札幌市/岩手県・釜石市/埼玉県・熊谷市/東京都/神奈川県・横浜市/静岡県/愛知県・豊田市/大阪府・東大阪市/神戸市/福岡県・福岡市/熊本県・熊本市/大分県 [全国12都市]
- (3)スタジアム動員数/チケット販売枚数/販売率  
約170万人/約184万枚/99.3%
- (4)ファンゾーン入場者数 約114万人  
パブリックビューイング入場者数 237会場 17万人
- (5)テレビ瞬間最高視聴率 53.7% (日本 VS スコットランド 関東地区・ビデオリサーチ調べ)
- (6)ワールドラグビー会長コメント・最も偉大なワールドカップとして記憶に残る。日本は開催国として最高



## 2 岩手・釜石開催に向けた2019年度の主な取組実績

### <大会本番における賑わいの創出>

- (1)大会情報の発信 (3)機運醸成イベントの開催
- (2)ガイドブック等による本県の魅力発信 (4)独自ボランティアの活動促進



### <観客等の受入態勢の構築>

- (1)ファンゾーン等の設置・運営 (4)都市装飾の実施
- (2)県内各地でのPVの実施 (5)外国人等へのおもてなしの実施
- (3)大会公式ボランティアの配置



### <観客等の円滑な輸送の確保>

- (1)大会本番及びテストイベントにおける交通輸送の実施  
(パーク&ライドの運用やライナーバス及びシャトルバス運行の実施)
- (2)観戦客向けHP、ガイドブックによる宿泊情報の発信
- (3)RWC期間中における県内旅行商品造成の促進



### <警備・防災・医療など安全安心の確保>

大会本番及びパシフィック・ネーションズカップにおける警備(防災含む)・医療救護の実施

## 3 パシフィック・ネーションズカップ2019 日本代表 対 フィジー代表

ワールドラグビー及び日本ラグビーフットボール協会が主催するパシフィックネーションズカップ2019の試合が、釜石鶴住居復興スタジアムで開催され、観客輸送や医療救護、ファンゾーンの運営テストを実施。

- (1)試合日：2019年7月27日(土) 14時50分キックオフ 日本34-21 フィジー
- (2)スタジアム入場者数：13,135人 最高気温31℃
- (3)概要

- 観客の交通輸送(ライナーバス、シャトルバスの運行等)利用者8,800人
- 熱中症対策として給水所4カ所設置(スタジアム内外) 会場内飲食物持込禁止
- 医療救護所(スタジアム内2カ所、入場ゲート付近1カ所設置)  
利用者数46人(うち救急搬送7人)
- スタッフ警備員及び誘導員349人 警察300人(うち交通対策50人)
- ファンゾーン(釜石市民ホール:入場者5,000人)  
県内6市町でパブリックビューイング(650人)



- (4)ふりかえり  
観客輸送は概ね順調であったが、入場待機列の整理や帰路の誘導、持込禁止物の周知不足、会場内での多言語対応などが課題となった。

## 4 RWC岩手・釜石開催概要

### <9.25 フィジー代表 対 ウルグアイ代表>

- (1)試合日 2019年9月25日(水) 14時15分キックオフ
- (2)スタジアム入場者 14,025人 フィジー27-30 ウルグアイ
- (3)概要

- スタジアム：大会名誉総裁秋篠宮皇嗣及び同妃殿下のご臨席、観戦招待した地元子ども達による復興支援への感謝のメッセージフラッグの掲出、「ありがとうの手紙」の合唱等の実施、ブルーインパルス展示飛行、選手入場後の黙とう、両国国旗・大漁旗による応援、郷土芸能披露
  - ・観客輸送(ライナーバス、シャトルバス)利用者9,500人 給水所2カ所設置 5スタッフ警備員及び誘導員361人警察304人
  - ・医療救護所(スタジアム内2カ所、入場ゲート付近1カ所)利用者数7人(うち救急搬送1人)9/23から食物持込可
  - ・スタジアム内飲食販売(9/25)44業者 売上1,600万円(参考 日本対フィジー戦(7/27)1,600万円)
  - ・多言語対応 交通輸送及び会場案内、医療救護、避難誘導でボランティア、翻訳機器の活用や案内看板の絵文字化等
- ファンゾーン(釜石市民ホール 入場者5,323人):パブリックビューイング、有名ゲストによるトークショー(サンドウィッチマン、松尾雄治、鈴木スポーツ庁長官)、フィジー&ウルグアイ料理お振舞、復興情報発信ブース等
- 県内各地でのパブリックビューイング(4市668人):県内イベントと連携し、全体的に盛り上げ



### <10.13 ナミビア代表 対 カナダ代表>

- (1)試合日 2019年10月13日(日) 12時15分キックオフ ※台風第19号の影響により試合中止  
10月12日13時避難準備高齢者等避難開始発令、釜石市災害対策本部設置 同日14時30分避難勧告発令  
10月13日0時40分大雨特別警報 同日5時30分試合中止決定(試合6時間45分前)  
台風の影響に伴い、10月12日、13日のファンゾーンを中止。

### (2)特記事項

- カナダ代表によるボランティア活動 ※組織委Twitterにより約1,300万人が閲覧するなど、国内外で注目を集めた釜石市内で泥かきのボランティア活動を実施
- ナミビア代表による市民交流  
被災した宮古市民を勇気づけるため、市民との激励と交流の場を設置
- スタジアム周辺でキックオフ時間に、市民等有志によるおもてなし  
台風被害の中、お越しいただいた方への大漁旗による感謝の発信



### <地域振興・国際交流>

- ファンゾーン 28日間 38,982人 売上1,000万円  
ファンゾーン周辺イベント(釜石まるごと味覚フェスティバル、三陸ぐるっと食堂等)売上850万円
- 県内各地でのパブリックビューイング 6市町 延べ16回 5,093人
- 県外での復興情報の発信や観光・物産のPR(東京ファンゾーンでの出展など)
- 公式ボランティアとして593人がスタジアム内、ファンゾーンなどで活動  
独自ボランティアとして414グループ 延べ28,829人がおもてなしや盛り上げの活動実施
- 公認キャンプ地における国際交流の促進(地元小中学生との日本体験文化・ラグビー交流、出場国の学習と学校給食に出場国料理の提供、歓迎レセプションの実施など)
- ニュージーランドの高校生を招いてラグビーと防災学習を通じた交流(2018年、2019年継続)

## 5 大会レガシーの継承~ラグビーをはじめとした岩手のスポーツ振興~

- RWC2019を記念したメモリアルイベントの実施や釜石鶴住居復興スタジアムを活用した大会・合宿の誘致
- 小中学生向けラグビー体験会や選手等との交流会の開催 など